禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B81

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
１級 サッシ施工 学科試験問題
(ビル用サッシ施工作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　施工要領書は、建築工事におけるサッシ等の施工計画を円滑に推進するための手順、規格、規定、管理体制及び確認事項について、まとめたものである。

2　サッシの搬入、揚重及び保管は、いずれもサッシの施工計画に含まれる。

3　サッシを取り付けるための基準墨において、出入り墨は、サッシの面内方向の基準となる。

4　引違い窓の障子の建込み調整は、一般に、ガラスまわりのシーリングが完了した後で行う。

5　サッシの後付け工法は、PC(プレキャストコンクリート)打込み工法に比べて、サッシ枠まわりからの漏水事故が少ない。

6　日本産業規格(JIS)によれば、鉄工やすりの目の種類は、荒目、中目及び油目の3種類であるとされている。

7　シーリング工事に使用するバックアップ材は、シーリング材と接着しないものを用いる。

8　サッシとガラスの取合いにおいて、面クリアランスとは、ガラスのかかりしろ寸法のことをいう。

9　サッシ製品を保管するときは、サッシ製品の取付け順序を考慮して置くとよい。

10　アルミニウムサッシ本体のよごれを取り除くには、中性洗剤水溶液で清掃を行うとよい。

11　単管足場は、本足場には含まれない。

12　グレイジングビード施工における後付けビードは、ガラスと金属部材との隙間にひも状ビードを差し込んで、ガラスを固定するものである。

13　上げ下げ窓には、両上げ下げ窓と片上げ下げ窓がある。

14　たて軸回転窓とは、障子の水平方向を軸として回転しながら開閉する窓のことをいう。

15　サッシの気密性は、遮音性には影響しない。

16　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの水密性は、等級がW－5よりもW－1の方が高いとされている。

［A群（真偽法）］

17　日本産業規格(JIS)によれば、ドアセットの性能項目には、耐震性も含むとされている。

18　ステンレス鋼は、アルミニウムに比べて線膨張係数が大きい。

19　クレセントは、回転窓に使用される。

20　鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造は、一体式構造である。

21　PC(プレキャストコンクリート)カーテンウォールは、耐力壁である。

22　サッシに使用するガラスの種別は、建具配置図に示されている。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、引違い戸を表す平面表示記号とされている。



24　建築基準法関係法令によれば、鉄製で鉄板の厚さが1.5mm以上の防火戸は、特定防火設備であると規定されている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、研削といしを取り替えたときには、1分間以上試運転をしなければならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

1　大規模工事の詳細な日程計画を組むときの工程表として、最も適切なものはどれか。
　イ　ガントチャート工程表
　ロ　ネットワーク工程表
　ハ　バーチャート工程表
　ニ　バナナ曲線工程表

2　サッシ施工における躯体開口部の確認に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　開口部のチェックは、基準墨よりも開口部の寸法を優先する。
　ロ　開口部寸法は、一般に、サッシ外寸法から上下左右にそれぞれ30～50mm大きくする必要がある。
　ハ　開口部をチェックした結果、開口部の寸法が小さい場合は、チョーク等ではつり寸法を躯体に明記する。
　ニ　埋込みアンカーがない場合は、チョーク等であと施工アンカーの打込み位置を躯体に明記する。

3　PC(プレキャストコンクリート)打込み工法におけるサッシ又はドアの取付けに関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　サッシ又はドアを鉄骨鉄筋コンクリートの作業と同時に打込み、取り付ける。
　ロ　建築現場で、コンクリート打込み前に、型枠にサッシ又はドアを取り付ける。
　ハ　PC(プレキャストコンクリート)に直接、サッシ又はドアを現場で取り付ける。
　ニ　アンカープレートを取り付けたサッシ又はドアを工場で型枠に固定し、コンクリートを打ち込んで一体とする。

4　RC納まりのサッシ取付けに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　乾式工法において、建具枠を溶接固定した溶接部には、防錆塗装を行う。
　ロ　乾式工法において、建具枠と躯体間には、モルタル詰めを行う。
　ハ　サッシの仮止めは、クサビなどにより行う。
　ニ　鉄筋コンクリート構造における先付け工法において、型枠へのサッシ取付けは、コンクリート打ちの前に行う。

5　測定機器の使用方法に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　2点の高さの差を測るには、レベルを使用する。
　ロ　直線を延長するには、トランシットを使用する。
　ハ　地墨の水平角を測定するには、レベルを使用する。
　ニ　鉛直角を測定するには、トランシットを使用する。

6　次の器工具とその用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

	器工具		用　途
イ	ディスクグラインダ	・・	研削作業
ロ	シャーレンチ	・・・・・	接合部の小ねじの締付け
ハ	トルクレンチ	・・・・・	ハイテンションボルトの締付け
ニ	ジグソー	・・・・・・・	板材等の直線、曲線切断加工

［B群（多肢択一法）］

7　ガラスまわりのシーリング材として、適切なものはどれか。
　イ　シリコーン系
　ロ　変成シリコーン系
　ハ　アクリルウレタン系
　ニ　ポリウレタン系

8　1成分形シーリング材のうち、乾燥硬化形のものはどれか。
　イ　シリコーン系
　ロ　ポリサルファイド系
　ハ　ポリウレタン系
　ニ　アクリル系

9　サッシの保管場所と保管方法に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　通気がよく、湿潤状態でないこと。
　ロ　落下物等による損傷のおそれのないこと。
　ハ　小運搬、配置経路に障害がないこと。
　ニ　サッシ製品は、平積みとすること。

10　サッシ工事の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　サッシ取付け作業のために養生の一部を剥がした場合は、必ず復旧する。
　ロ　コンクリート及びモルタルが製品に付着した場合は、速やかに汚れを除去するよう現場監督員に報告する。
　ハ　建具の開口部を資材の運搬口とする場合は、建具部分を保護材で養生する。
　ニ　アルミニウム合金製品にアルカリ性物質が付着しても腐食することはない。

11　ゴンドラ作業に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　ゴンドラ性能検査の検査証の有効期間は、1年未満である。
　ロ　定期自主検査は、3か月以内に1回行って結果を記録しておく。
　ハ　ゴンドラ内で、脚立やはしごは使用しない。
　ニ　ゴンドラの操作は、安全のための特別の教育を修了した者が行う。

12　ガラス施工に使用される建築用シーリング材に求められる性能として、適切でないものはどれか。
　イ　耐候性がよいこと。
　ロ　部材への接着性がよいこと。
　ハ　変色しにくいこと。
　ニ　収縮性が大きいこと。

［B群（多肢択一法)］

13　すべり出し窓に使用しない付属金物はどれか。
　イ　アーム
　ロ　ラバトリーヒンジ
　ハ　スライディングピボット
　ニ　ハンドル

14　サッシとドアの開閉方法による分類において、スイングに属するものはどれか。
　イ　横軸回転窓
　ロ　自由片引き戸
　ハ　ハンガードア
　ニ　上げ下げ窓

15　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの性能項目における開閉力の載荷荷重として、正しいものはどれか。
　イ　10N
　ロ　30N
　ハ　50N
　ニ　70N

16　日本産業規格(JIS)において、スイングドアセットの必須性能でないものはどれか。
　イ　ねじり強さ
　ロ　鉛直荷重強さ
　ハ　耐衝撃性
　ニ　戸先かまち強さ

17　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。
　日本産業規格(JIS)によれば、車いす使用者の出入口に用いるドアセットの寸法において、ハンドル又はノブの高さは、(①)mm以上、(②)mm以下とされている。

	①		②
イ	600	・・・	700
ロ	700	・・・	800
ハ	800	・・・	900
ニ	900	・・・	1000

18　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
　アルミニウムの融点は、1気圧で約(　　)℃である。
　イ　327
　ロ　660
　ハ　1064
　ニ　1538

［B群（多肢択一法）］

19　次の付属部品と用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

	付属部品		用　途
イ	カンヌキ締り	・・・	門扉
ロ	ヒューズ	・・・・・	可動ガラリ
ハ	オートヒンジ	・・・	防火引戸
ニ	バランサー	・・・・	上げ下げ窓

20　建築構造に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　ツーバイフォー構法は、木造の枠組壁構法である。

ロ　鉄筋コンクリート造は、鉄骨をコンクリートで補強した構造である。

ハ　木造の在来軸組構法は、主要構造部を柱・梁（はり）・けた・土台などで構成した構造である。

ニ　鉄骨造は、躯（く）体に鋼製の部材を用いた構造である。

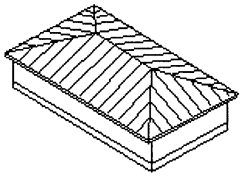
21　次図の屋根形状の名称として、適切なものはどれか。

イ　方形屋根

ロ　寄棟屋根

ハ　入母屋屋根

ニ　切妻屋根



22　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

金属製建具を製作、施工するための断面図で特記のない場合、縦断面図は右側を(①)とし、横断面図は手前側を(②)とする。

	①	②
イ	外側(室外側)	外側(室外側)
ロ	外側(室外側)	内側(室内側)
ハ	内側(室内側)	内側(室内側)
ニ	内側(室内側)	外側(室外側)

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則において、次図の材料構造表示記号が表すものはどれか。

イ　壁一般

ロ　軽量壁一般

ハ　普通ブロック壁

ニ　コンクリート及び鉄筋コンクリート



［B群（多肢択一法）］

24　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、避難施設等における非常用の進入口は、幅(①)cm以上、高さ(②)m以上であることとされている。

	①	②
イ	95	2.0
ロ	80	2.0
ハ	75	1.2
ニ	60	1.2

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、つり足場の作業床は、幅を(　　)cm以上とし、かつ、隙間がないようにすることとされている。

イ　20
ロ　30
ハ　40
ニ　50